

Goal 5

ジェンダー平等を実現しよう

GENDER EQUALITY

5 ジェンダー平等を実現しよう



●この目標(Goal)の解説

目標5「ジェンダー平等を実現しよう」は、すべての人が性に基づく偏見、差別、不平等を受けることなく、それぞれの可能性を開花させ、自らの選択に基づいて尊厳ある人生を送ろうというものです。世界的にも多くの課題が残っている目標であり、日本も最低評価を受けている現状があります（持続可能な開発報告書2019による）。

日本での最重要課題は、政治での意思決定レベルでの男女の平等な参加促進があります。他には、性別に基づいた固定観念や性別分業意識の払拭、無償のケア労働の公平な分担、女性に大きく偏っている非正規労働の是正、同一労働・同一賃金に代表される雇用の場での基本的原則の徹底が挙げられます。長時間労働の解消とディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の実現を通じて、女性、男性、すべての人が仕事と生活を両立させることも重要です。

同時に、世界のジェンダー課題にも目を向けることも重要です。女性の可能性が閉ざされ、場合によっては命が脅かされる状況が存在することを知り、世界と日本のジェンダー平等、そして女性のエンパワーメントを共に考える視点が大切です。

また、ジェンダー平等は分野横断的課題でもあります。目標10(不平等)を筆頭に、目標3(健康)、4(教育)、6(安全な水)、12(つくる責任・つかう責任)はその代表的なものです。すべての目標のジェンダー課題を理解し、その根本にある構造的な問題の変革に向けて、大胆に取り組むことが求められます。UN Womenは、目標5を「開発と進歩の重要な推進役」と表現しています。ジェンダー平等は、「誰一人取り残さない」持続可能な開発の鍵なのです。



●大学生協での実践事例



奈良女大学生協 トランスジェンダー学習会

大学でトランスジェンダー学生の受け入れが2020年4月から開始されるにあたり、生協の対応についての学習会を開催しました。生協職員や学生委員会、上級生委員会、ブロック事務局、共済連、事業連合職員、他大学の学生理事など総勢100名での学習会となりました。

副学長からは『SOGI、LGBTとはどういうものか』や『生協としての配慮課題』について講演いただき、弁護士の方からは憲法の視点から見る人権の問題についての講演やワークをしていただきました。SOGI、LGBTの方々の存在や困難な状況を知ることで、多様な組合員を理解し、組合員ひとりひとりを尊重するために生協でできることを考えることができました。



●この目標に対して私たちができること

👉私たちができること／自分の大学・大学生協でできることを考えてみよう！